

教育体制充実のための看護系大学院 における教育者養成に関する調査研究

担当教員用

Q1. ご所属の大学の設置主体について〔1つだけ〇〕

1. 国立大学 2. 公立大学 3. 私立大学 4. その他

具体的に

Q2. ご所属の看護学研究科設置年について〔1つだけ〇〕

1. 2011年以降 2. 2006～2010年 3. 2001～2005年 4. 2000年以前

Q3. あなたの専門分野（最も近いもの）について〔1つだけ〇〕

1. 基礎看護 2. 看護教育 3. 母性看護・助産 4. 小児看護 5. 精神看護
6. 成人看護 7. 老人看護 8. 地域看護 9. 在宅看護
10. その他

具体的に

Q4. あなたの大学院での教育年数を教えてください。〔各数値回答〕

①	②	③
博士前期課程 (修士論文コース)	博士前期課程 (CNSコース)	博士後期課程
年	年	年

Q5. 現在の大学院生全体の在籍者数と、あなたが大学院で担当している単位認定科目数、専門分野で研究指導している大学院生（以下、担当大学院生）数を教えてください。〔各数値回答〕

課程	全体の在籍者数	単位認定科目数	担当大学院生数
①博士前期課程	人	科目	人
②博士後期課程	人	科目	人

Q6. 担当大学院生の背景について、フルタイム学生と社会人学生の割合を教えてください。〔各数値回答〕

課程	フルタイム学生		社会人学生		計
		%		%	
①博士前期課程（修士論文コース）		%		%	100%
②博士前期課程（CNSコース）		%		%	100%
③博士後期課程		%		%	100%

「社会人の担当大学院生」がいる方にお尋ねします。

Q7. 社会人で多い職種は何ですか。〔1つだけ〇〕

1. 看護系大学教員 2. 看護系教育機関教員（大学を除く） 3. 臨床看護職
4. その他

具体的に

Q8. 大学院生の修了後の進路について教えてください。【各いくつでも〇】

	① 博士前期課程 (修士論文コース)	② 博士前期課程 (CNSコース)	③ 博士後期課程
看護系大学	1	1	1
大学以外の教育機関（認定看護師教育機関等）	2	2	2
病院・助産所・クリニック等	3	3	3
訪問看護ステーション	4	4	4
保健所・保健センター等	5	5	5
研究機関	6	6	6
行政（文科省、厚労省等）	7	7	7
博士課程への進学	8	8	8
その他	①の内容	9	9
	②の内容		
	③の内容		

※「9. その他」を選択した場合は、①②③ごとにその具体的な内容をご記入ください。

Q9. 現在、あなたが担当している大学院の科目の中で、現場の看護専門職者（看護師、保健師、助産師、CNS、CNを含む）は大学院教育に関わっていますか。【1つだけ〇】

1. 関わっている 2. 関わっていない

↓ Q9で「1. 関わっている」と回答した方にお尋ねします。

Q10. そのすべての科目名と関わっている看護専門職者の延べ人数（1回を1名と数える）をお書きください。【各文字回答/各数値回答】

課程	科目名	延べ人数 計
① 博士前期課程 (修士論文コース)		人/年
② 博士前期課程 (CNSコース)		人/年
③ 博士後期課程		人/年

大学院であなたが担当しているすべての科目についてお伺いします

Q11. 大学院生の「学生を教え育む力（教育力）」の育成を意図して授業で行っていることはありますか。【1つだけ〇】

1. ある 2. ない

↓ Q11で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。

Q12. どのような力を育てていますか。【いくつでも〇】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 何を学べば成果が上がるか、能力が増すかを示す力 | 2. 学びを促進する人的物的学習資源を整える力 |
| 3. 学ぶべき内容を解説し、その理解を助ける力 | 4. 学ぶ過程で修正するのを助ける力 |
| 5. 学び続けるエネルギーを与える力 | 6. 能力の獲得水準を評価する力 |
| 7. 成長し続ける専門職者としてのモデルを示す力 | 8. 個人やグループの能力を見だし伸ばす力 |

Q11で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。

Q13. Q12以外に大学院生に「教育力」の育成を意図して、授業で育てている力があればご記入ください。〔文字回答〕

Q14. 大学院生の「教育力」の育成を意図して、必ず扱う授業内容、必ず取り入れる学修方法、必ず課す課題はありますか。〔各1つだけ○/各文字回答〕

	有無	具体的に内容、方法、または課題をご記入ください
①必ず扱う授業内容	1. ある <input checked="" type="radio"/>	
	2. ない <input type="radio"/>	
②必ず取り入れる学修方法	1. ある <input checked="" type="radio"/>	
	2. ない <input type="radio"/>	
③必ず課す課題	1. ある <input checked="" type="radio"/>	
	2. ない <input type="radio"/>	

Q15. 博士後期課程において、あなたは博士前期課程修了コース（論文コースまたはCNSコース）を考慮した教育力育成を行っていますか。〔いくつでも○〕

1. 教育力育成を目的とした教育は特に行っていない
2. 修了コースは考慮していないが、教育力育成を目的とした教育を行っている
3. 論文コース修了者を意識した教育力育成を行っている
4. CNSコース修了者を意識した教育力育成を行っている

Q15で「3. 論文コース修了者を意識した教育力育成を行っている」と回答した方にお尋ねします。

Q16. その教育力育成の「科目名」「内容・授業展開の工夫」をご記入ください。〔文字回答〕

科目名	内容・授業展開の工夫など

Q15で「4. CNSコース修了者を意識した教育力育成を行っている」と回答した方にお尋ねします。

Q17. その教育力育成の「科目名」「内容・授業展開の工夫」をご記入ください。〔文字回答〕

科目名	内容・授業展開の工夫など

大学院において「看護教員に求められる能力」の育成を意図した授業についてお伺いします

ここでの大学院生の「看護教員に求められる能力」を育成することを意図した授業とは、大学院の授業科目（講義、演習、実習）、TA、RA、院生としての活動を含みます。
 なお、「看護教員に求められる能力」については、この調査票の8ページにある「別紙」をご覧ください。

Q18. 以下の項目ごとに示した能力を育成する授業を行なっていますか。行っている場合は、その開講科目名と該当項目について教えてください。

〔1〕看護教育者としての資質①：対人関係能力

※対人関係能力…別紙「看護教員に求められる能力」（1）～（5）を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔2〕看護教育者としての資質②：職業倫理

※職業倫理…別紙「教員に求められる能力」（6）（7）を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔3〕実習施設との関係調整能力

※関係調整能力…別紙「看護教員に求められる能力」（8）～（12）を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔4〕臨床実習における学習支援力

※学習支援力…別紙「看護教員に求められる能力」（13）～（22）を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔5〕教育全般を見渡す力

※教育全般を見渡す力…別紙「看護教員に求められる能力」(23)～(25)を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔6〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力①：看護実践能力

※看護実践能力…別紙「看護教員に求められる能力」(26)～(30)を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔7〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力②：研究能力

※研究能力…別紙「看護教員に求められる能力」(31)～(36)を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔8〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力③：自己啓発・自己教育力

※自己啓発・自己教育力…別紙「看護教員に求められる能力」(37) (38)を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士前期	博士後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

〔9〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力④：情報処理能力

※情報処理能力…別紙「看護教員に求められる能力」(39) (40)を参照

	開講科目名	課程科目		授業以外での育成の機会として 行っているものはありますか。
		博士 前期	博士 後期	
①		1	2	1. TA 2. RA
②		1	2	3. その他 具体的に
③		1	2	

Q19. 大学院教育において教育力育成に関して貴学で直面している課題がありましたら、その内容と取り組みについて教えてください。〔文字回答〕

①	直面している課題の内容
	取り組みについて

②	直面している課題の内容
	取り組みについて

③	直面している課題の内容
	取り組みについて

別紙「看護教員に求められる能力」一覧

〔1〕看護教育者としての資質①：対人関係能力

- (1) 職務における連絡・報告の方法を理解できる
- (2) 組織における自己の役割を理解できる
- (3) 委員会など大学運営において積極的に役割を果せる
- (4) 仕事上の問題や悩みを相談できるメンターや同僚を見つけられる
- (5) 大学内の教員と自ら積極的にコミュニケーションをとれる

〔2〕看護教育者としての資質②：職業倫理

- (6) 倫理的感性を高めるための自己研鑽に取り組める
- (7) 職業倫理について自己の行動をリフレクションできる

〔3〕実習施設との関係調整能力

- (8) 大学の教育方針と実習との関連を理解できる
- (9) 実習施設・フィールドの理念や実習受け入れ方針を理解できる
- (10) 実習指導者と良好な関係をもち調整できる
- (11) 実習先のスタッフとの関係を形成し調整できる
- (12) 非協力的なスタッフと調整できる

〔4〕臨床実習における学習支援力

- (13) 学生の学習状況査定に基づく意欲や個性、主体性を促す指導ができる
- (14) 学生を適切に評価できる（公平な評価、客観的情報に基づく評価等）
- (15) 看護学教育の構造の理解に基づく教授技術が活用できる
- (16) 対象を理解し看護過程展開を指導できる
- (17) 実習カンファレンスを効果的に運営できる
- (18) 学生の実習上の問題や必要に応じて個人的な問題に対応できる
- (19) 施設や指導者との意見対立を調整できる
- (20) 学生の学習保証と患者への倫理的配慮を調整できる
- (21) 臨床状況における学生の立場を擁護できる
- (22) 大学の教育内容と実践レベルのギャップに対応できる

〔5〕教育全般を見渡す力

- (23) 担当科目のカリキュラムの上の位置づけを理解できる
- (24) 教育目的に適した授業形態の特徴が理解できる
- (25) 授業計画を立てるための基本的知識を理解できる

〔6〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力①：看護実践能力

- (26) 最新の保健・医療情報に関する自己学習計画を立てられる
- (27) 教育活動に必要な未経験の実践領域に関する専門知識について学習できる
- (28) 専門外領域であっても指導において必要な専門知識を学習できる
- (29) 実習指導において必要となる看護技術を研修により修得できる
- (30) 実習指導において実習指導者との役割分担、協働の仕方を理解できる

〔7〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力②：研究能力

- (31) 自己の研究テーマとフィールドをもてる
- (32) 学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を得られる
- (33) 学会や研修会に積極的に参加し、学術研究の視野を広げられる
- (34) 学内の研究助成や外部の研究資金に積極的に応募できる
- (35) 研究活動について相談できる指導者を確保できる
- (36) 研究成果を活用して授業に織り込むことができる

〔8〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力③：自己啓発・自己教育力

- (37) 学内外に自己の職業上の問題を相談できる人的ネットワークをつくることができる
- (38) 職業生活上の短期・長期目標をもてる

〔9〕教育・実践・研究の連関へ学術的に参与する力④：情報処理能力

- (39) 情報システムの基礎知識を理解できる
- (40) 情報機器の利用方法を理解できる

「看護教員に求められる能力」

出典：日本看護系大学協議会編：平成24年度 文部科学省 大学における医療人養成推進等委託事業、教育体制充実のための看護系大学院における教育者養成に関する調査研究 報告書、2013。